



山梨県の対ベトナム戦略の現状と展望

2018年5月18日

山梨県立大学国際政策学部

安藤勝洋

目次

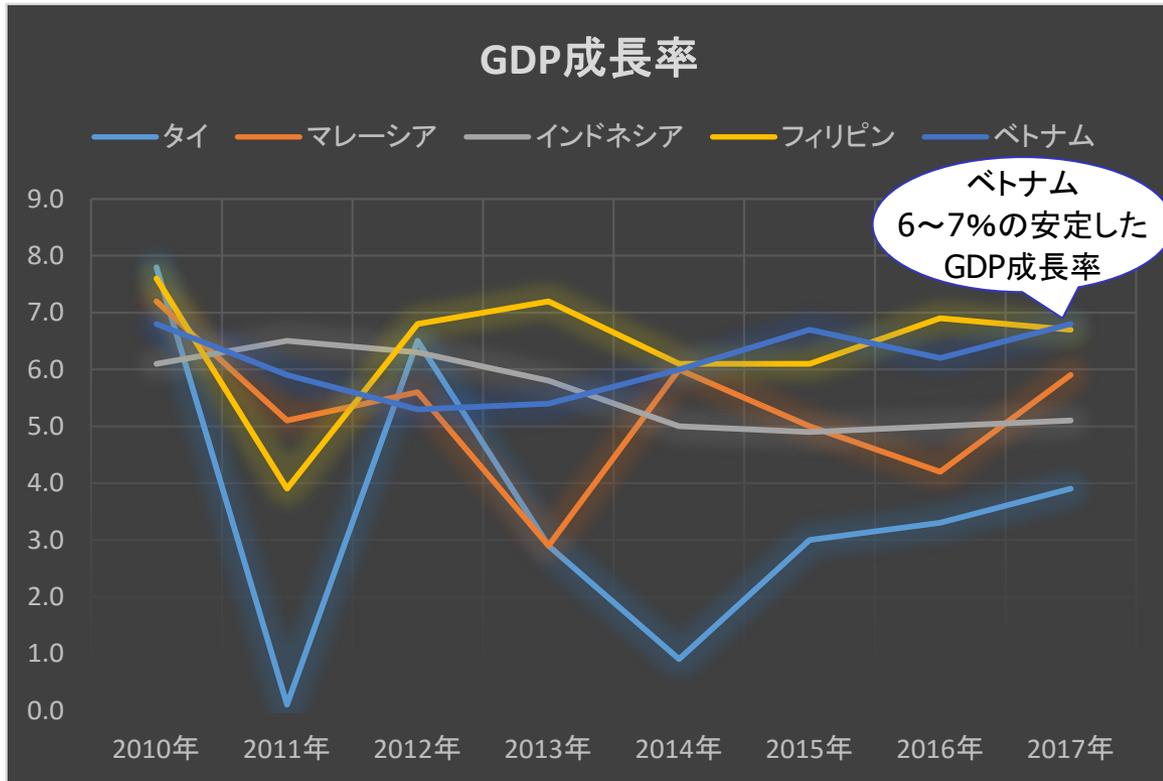
- 1. アジアにおけるベトナムの存在**
- 2. 山梨県とベトナムの観光協力**
- 3. 山梨県の地域力の向上に向けて**

東南アジアの経済成長におけるベトナム

- ・成長著しいアジア経済の中で、特に**安定した経済成長**と維持
- ・**政治が安定**し、勤勉で豊富な**労働力**
- ・**生産拠点**に加え、**消費市場**としても重要（人口約9270万人）
- ・日越関係が良好・親和性



地図出所: <https://www.hotdogger.jp/faq/?p=3799>



出所: 日本総研アジアマンスリー(<https://www.jri.co.jp/report/medium/asia/>)を元に作成

統計からみるベトナムと日本及び山梨の関係

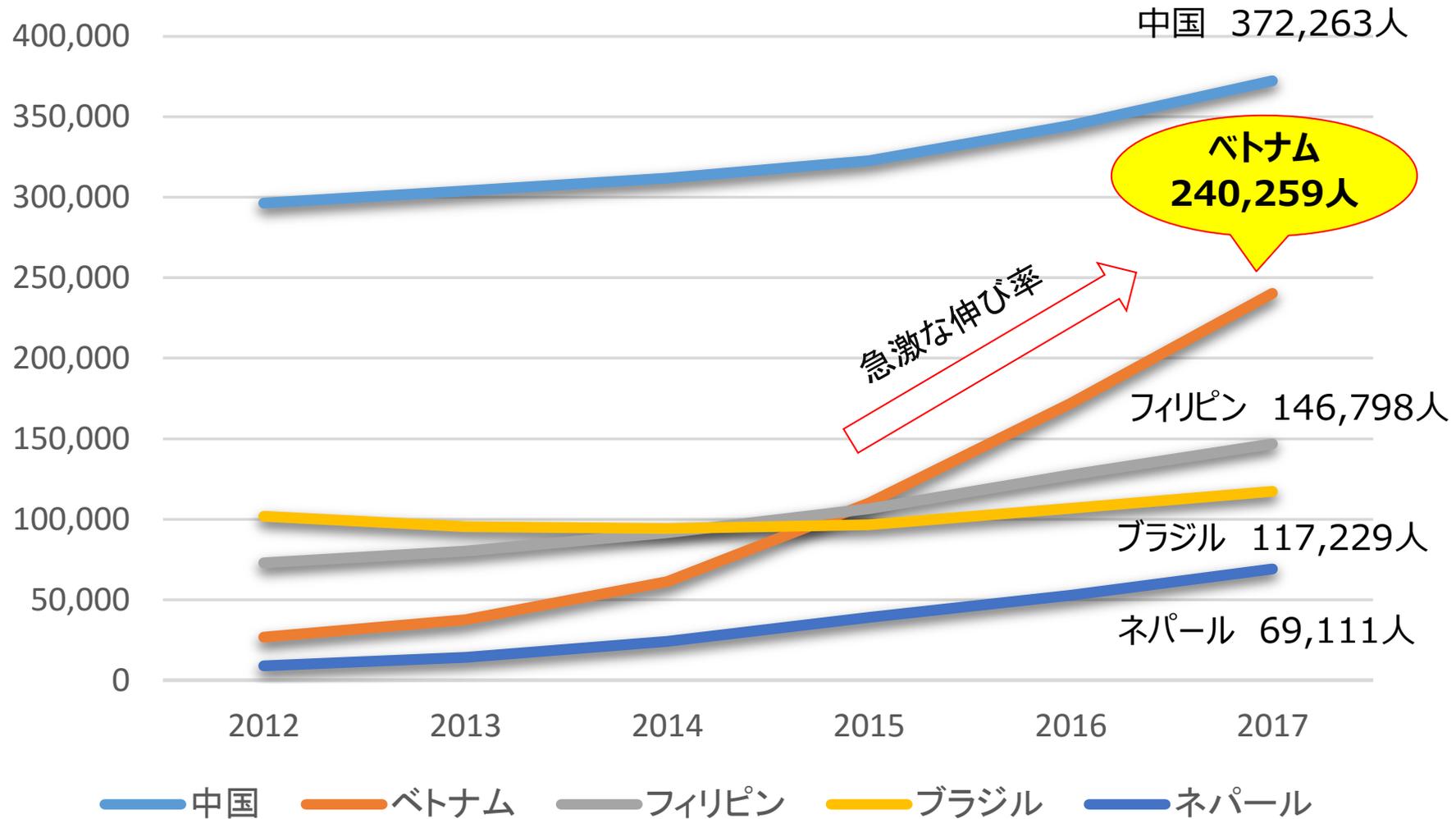
全国

在留ベトナム人	19万9900人（第4位（2016年））
ベトナム人労働者	24万0259人（第2位（2017年））
ベトナム人留学生	6万1671人（第2位（2017年））
観光客数	23万8000人（第15位（2016年））

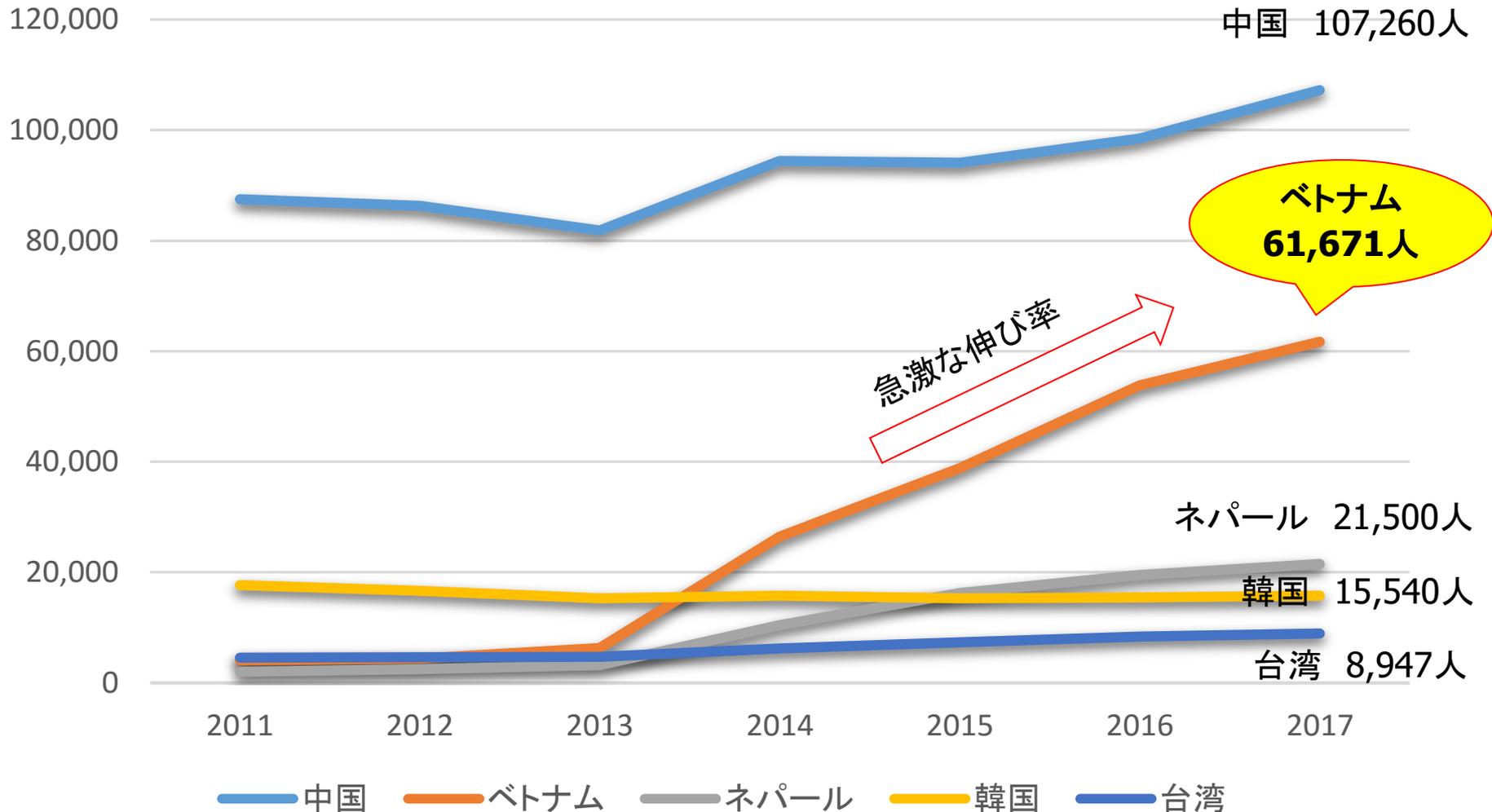
山梨県

在留ベトナム人	690人（第6位（2016年））
ベトナム人労働者	482人（第4位（2016年））
ベトナム人留学生	約70名
観光客（宿泊者数）	2万5480人（第8位（2017年））

日本で働く外国人労働者の推移



日本で学ぶ留学生の推移

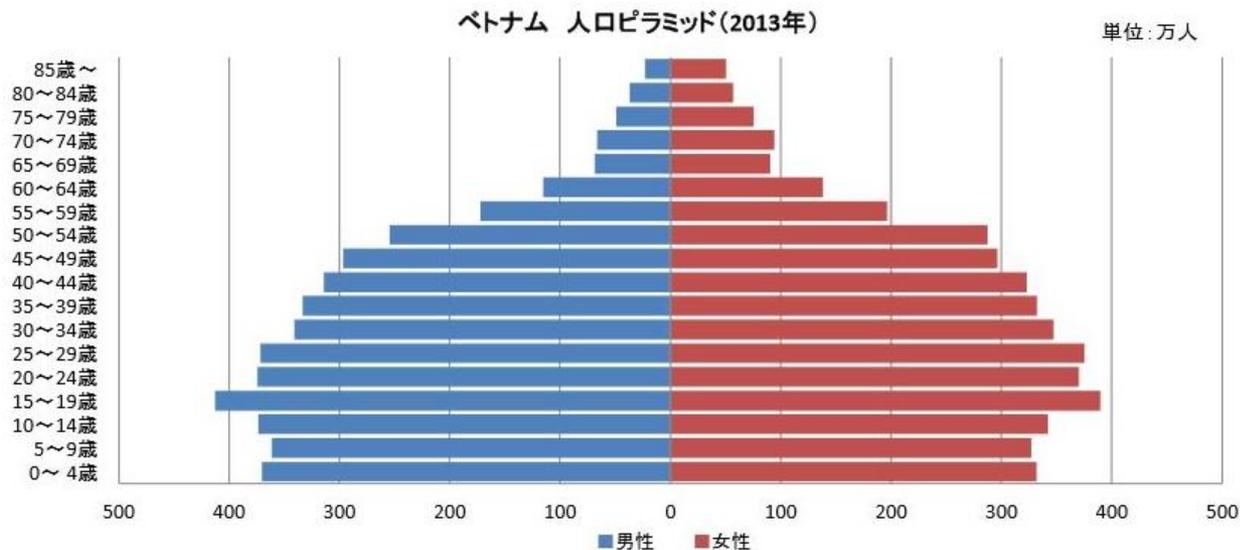


ベトナムの人口構造と若手人材の可能性

1. 次世代を担う**若い人材**の可能性
2. IT (IoT) 、製造、看護、福祉、観光等の**新しい雇用機会**
3. **管理・経営者** (指導的地位) としての可能性

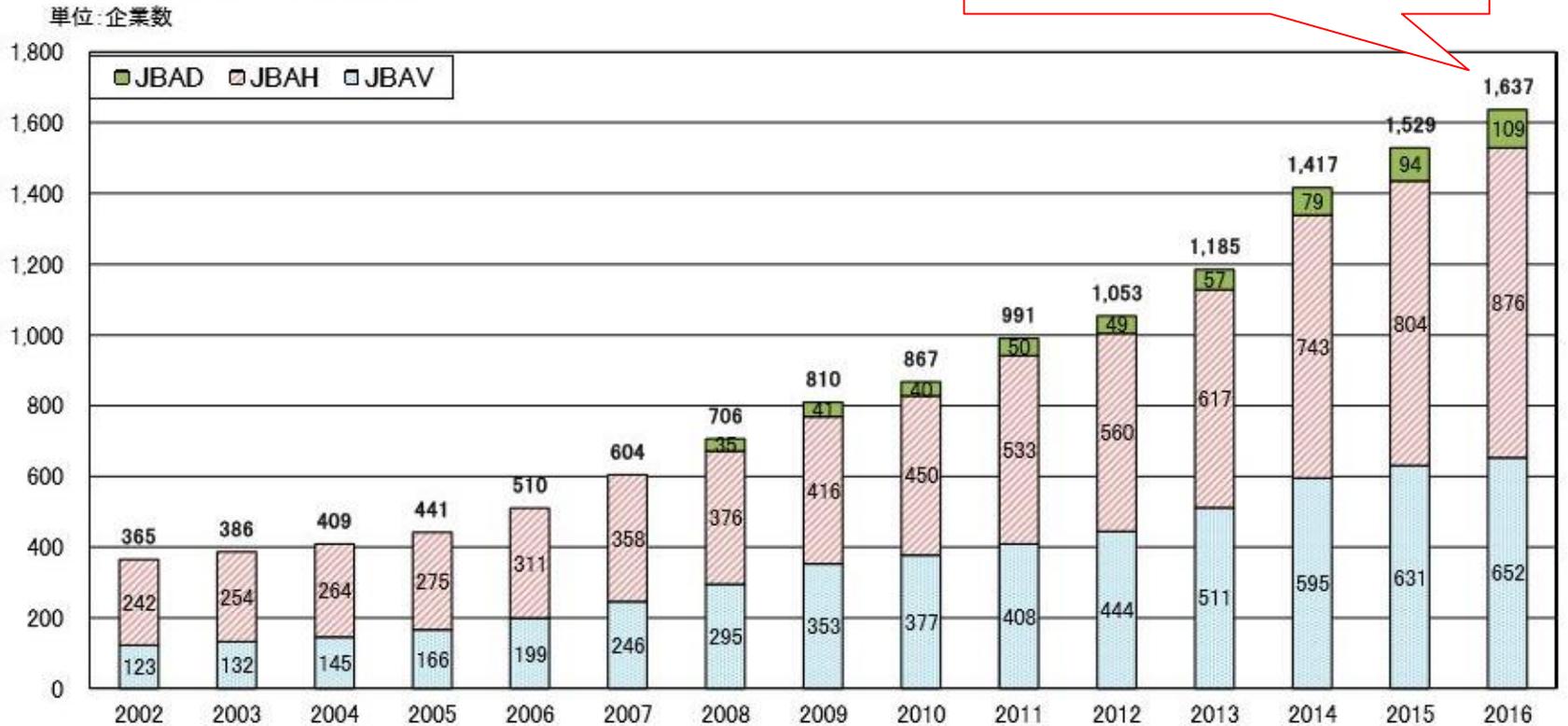
*** 平均年齢 30.4歳 (2015年)**

(日本 : 46.35歳 (2015))



ベトナムに進出する日系企業数の推移

2016年: 1637社



	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
JBAV	123	132	145	166	199	246	295	353	377	408	444	511	595	631	652
JBAH	242	254	264	275	311	358	376	416	450	533	560	617	743	804	876
JBAD							35	41	40	50	49	57	79	94	109
合計	365	386	409	441	510	604	706	810	867	991	1,053	1,185	1,417	1,529	1,637

出所: JBAV: ベトナム日本商工会(ハノイ市、ハイフォン市などの北部地域)

JBAH: ホーチミン日本商工会(ホーチミン市、ビンズオン省などの南部地域) 正会員と準会員の合計を記載

JBAD: ダナン日本商工会(ダナン市、クアンナム省などの中部地域) 2008年10月10日設立

ベトナムに進出する主な日本企業



【ハノイ】	
キャノン デンソー 三菱鉛筆 ニトリ	カメラ・レーザープリンター製造 自動車部品 文房具 家具製造
【ハイフォン】	
野村ホールディングス コクヨ 王子製紙	工業団地開発・運営 事務用文具 段ボール
【ダナン】	
エースコック エイチ・アイ・エス INAX	インスタントラーメン 旅行業務 水栓金具の製造販売
【ドンナイ】	
味の素 花王 スズキ	調味料の製造販売 シャンプー等の製造販売 オートバイ・自動車の製造
【ホーチミン】	
電通 ソニー みずほコーポレート銀行	広告代理店業務 テレビの製造 銀行業務
【ビンズオン】	
ロート製薬 ヤクルト	目薬・化粧品等の製造販売 乳酸飲料の製造販売

JICA 中小企業海外展開支援事業

- ・途上国への進出にむけた調査をサポートし、基礎調査、案件化調査、普及・実証事業のスキームにより支援している。
- ・山梨県内の企業では、対ベトナムにおいて、ダラット高原における先進的施設園芸事業（農業法人サラダボウル）などが調査案件として実施される。



日越大学 – 高度人材育成を目指す –

- 日越間の**高度人材育成**を目的に、2016年9月に修士プログラム開校
- 地域研究、公共政策、企業管理、ナノテク、環境工学、社会基盤のプログラム
- 東京大学、筑波大学、横浜国立大学、大阪大学、立命館大学等が幹事校
- **インターンシップ**等で、**経済界**が関わる



2. 山梨県とベトナムの観光協力

山梨県とベトナムとの観光協力の枠組み

山梨の主要産業の一つである「観光」を軸としたベトナムとの協力

2017年10月
後藤知事ベトナム訪問

- ・ベトナム観光総局との覚書
(旅行ツアー造成、観光プロモーション、大学等を通じた観光人材育成の促進)
- ・ベトナム旅行業協会との覚書
(訪日旅行の推進)
- ・山梨魅力説明会
(観光、特産品のPR)

知事 ベトナム訪れ山梨PR
観光交流で覚書締結



後藤知事は9日、ベトナムの首都ハノイで、ベトナム政府観光総局と観光交流に関する覚書を締結した。後藤知事は同日、同観光総局で、グエン・ヴァン・ウアン総局長と意見交換し、観光情報の相互発信や旅行ツアー商品の造成などを盛り込んだ覚書を結んだ。県によると、日本の自治体でベトナム政府と観光交流などに関する覚書を締結するのは初めて。

このほか、後藤知事らが現地の酒類流通業関係者らに県産酒をPRした。

10日にはベトナム旅行業協会の関係者と意見交換。県と、やまなし観光推進機構、同協会、訪日旅行の促進に関する覚書を締結した。県の観光資源や特産品をPRするイベントもハノイ市内の日本大使公邸で開かれた。

一行は11日、現地の旅行会社や日本食レストランなどを訪問。県産酒の取り扱いを求め、11日夜に現地を出国し、12日朝に帰国する予定。

（左）
ベトナム政府観光総局と観光交流などに関する覚書を締結する後藤知事
（左）
ベトナム・ハノイ

後藤知事は9日、ベトナムの首都ハノイで、ベトナム政府観光総局と観光交流に関する覚書を締結した。後藤知事は同日、同観光総局で、グエン・ヴァン・ウアン総局長と意見交換し、観光情報の相互発信や旅行ツアー商品の造成などを盛り込んだ覚書を結んだ。県によると、日本の自治体でベトナム政府と観光交流などに関する覚書を締結するのは初めて。

このほか、後藤知事らが現地の酒類流通業関係者らに県産酒をPRした。

10日にはベトナム旅行業協会の関係者と意見交換。県と、やまなし観光推進機構、同協会、訪日旅行の促進に関する覚書を締結した。県の観光資源や特産品をPRするイベントもハノイ市内の日本大使公邸で開かれた。

一行は11日、現地の旅行会社や日本食レストランなどを訪問。県産酒の取り扱いを求め、11日夜に現地を出国し、12日朝に帰国する予定。

（青柳秀弥）

出所：山梨日日新聞(2017年10月11日)

山梨県とベトナムとの観光協力の枠組み



山梨県立大学とベトナム国家大学・人文社会科学大学 との協力協定の締結

- ・学生間の交流（短期・長期留学プログラム）
- ・教員間の教育交流
- ・国際レベルの研究交流



ベトナム国家大学ハノイ校 人文社会科学大学の概要

●ベトナムのトップレベルの教育機関

・日本の東京大学のような存在

・QSアジア大学ランキング2016 139位 （参考：横浜国立大学136位）

ベトナム国家大学
ハノイ校



自然科学大学

人文社会科学大学

外国語大学

工科大学

教育大学

日越大学

- ・歴史学
- ・観光学
- ・社会福祉学
- ・国際学
- ・政治学
- ・社会学
- ・文学
- ・ジャーナリズム
- ・パブリックコミュニケーション
- ・情報学
- ・文献学
- ・言語学
- ・ベトナム学
- ・ベトナム語と文化

学生数：全体33,000人（学部）、11,000人（大学院）
人文社会科学大学 約9,000人

ハノイの日系企業でのインターンシップ

- ・山梨出身者が経営するジュエリー & お土産店でのインターン
- ・商品企画（現場から製造まで）、販売、管理等を実習
- ・ベトナムでの働き方、日本人旅行客の傾向などについて調査・経験



山梨県立大学 ベトナム観光フィールドワーク

- ・観光開発を行う少数民族村の体験型調査
- ・人々の暮らしの変化をインタビュー調査

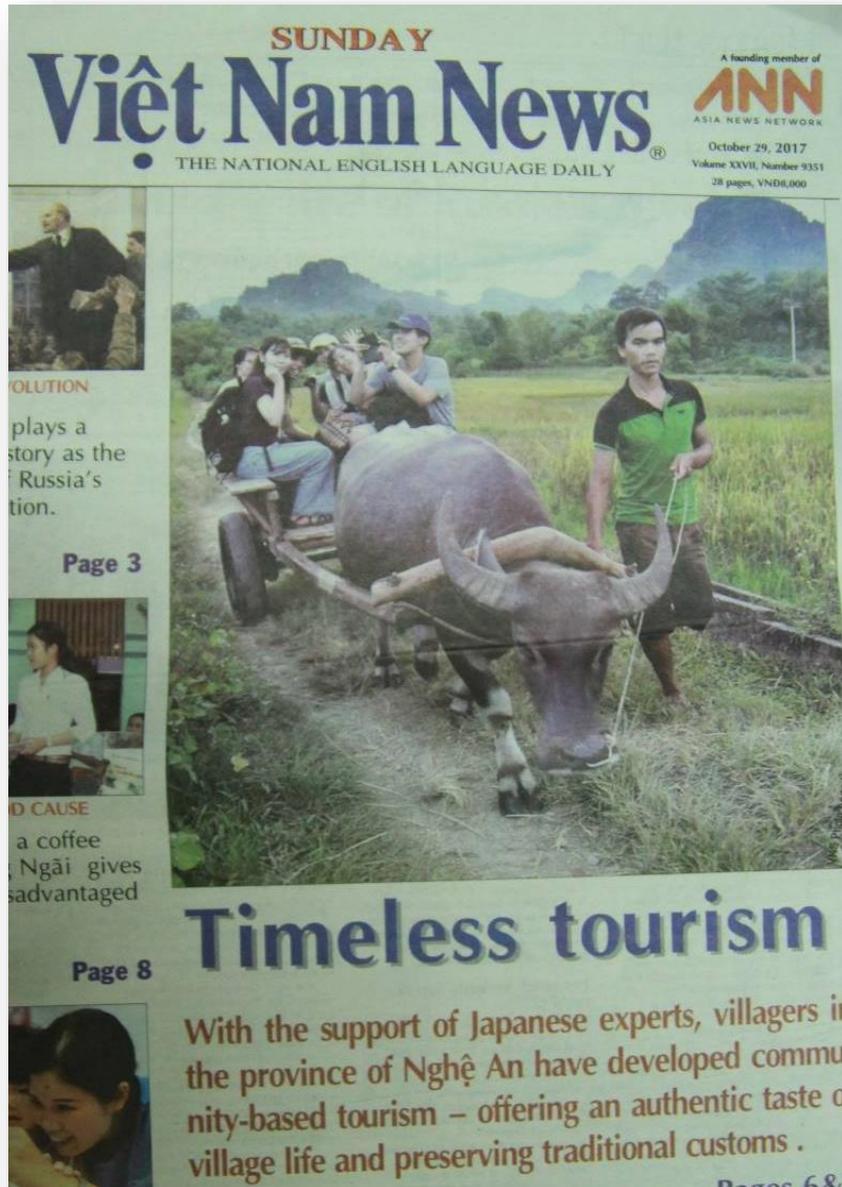


現場でのリアリティのある観光教育の実践

学生が感じた村の魅力、観光への提案を発表



ベトナム英字新聞や国営放送での報道



3. 山梨県の地域力の向上に向けて

ベトナム人の観光モニターツアー（県大生で企画・運営）

COC+（地（知）の拠点）の一環としてのグローバルな観光を創出するプログラム

- ・富士山周辺、地場産業、農村ツーリズムを体験
- ・大学生とともにツアープランを立案、受入れ
- ・過疎や担い手不足などの山梨の現状も共有



ベトナム人の誘客モニターツアー（県大生で企画・運営）



温泉の体験



ワイナリーでの試飲、土産購入



自然資源（昇仙峡）の観光ツアー

空家を活用した農家民宿体験



農泊オーナーとのふれあい



地元食材を使った料理



宿泊体験



生活の知恵（移動販売）を学ぶ

山梨県地域通訳案内士による芦川の案内



芦川のローカルナレッジ
家屋の作り、集落の構造の特徴
人口減少等、地域課題

伝統家屋の生活様式
石積みや花の手入れにベトナム人
は感動



芦川での婦人グループによる「ほうとう打ち体験」



学生による富士山周辺観光地（忍野八海、新倉山浅間公園）の案内



富士山と水にまつわる説明



富士山 + アルファの観光資源の
更なるプロモーション

美容（化粧品）・健康食品の大量買い



山梨県へのベトナム人誘客のキーワード

- **富士山+アルファ**の景観と体験
(温泉、農村、ワイナリー、神社、暮らし等)
- 「ありのまま」の「おもてなし」
- ベトナム語「地域通訳案内士」
- **WiFi環境の整備**
(オンラインでの母国との通信、FBカルチャー)
- お土産は**美容と健康** (化粧品、健康食品)



これらを地域課題の解決（地域力の向上）と結びつける仕組みが鍵

- ・地域の担い手不足
- ・農村活性化、農業・空家等の課題
- ・ものづくり産業活性化、通信等による利便性の向上

まとめ：対ベトナム戦略の展望

1) 若手人材を活かした山梨産業の拡大

- ・平均年齢30歳、人口約9270万人の国に**大きなビジネスチャンス**が広がっている

- ・単なる労働力ではなく、高度人材の「**管理・経営者**」の可能性

2) 留学生、労働者の重要性

- ・日本語を話し、日本文化を理解する**留学生、技能実習生**等を重要視し、**山梨県の地域人材（海外展開含む）**として雇用促進

3) 観光による地域力向上

- ・潜在する地域資源、地域人材に**ベトナム人の観光のニーズ**を**マッチ**させた**観光プログラム**の形成とプロモーション

- ・**地域課題**と**表裏**の関係を創ること（担い手、農業等）